

令和2年3月3日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

総務厚生常任委員会  
委員長 藤田 力

### 総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 所管事務調査事項

- (1) 朝日診療所の運営に関する調査
- (2) 人口減少対策に関する調査
- (3) 事務の適正管理と職員の健康管理に関する調査
- (4) 新たな自主財源確保に関する調査

#### 2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 1月16日、2月5日、2月20日
- (4) 出席委員 藤田力委員長、中野大徳副委員長、鈴木征委員、佐藤孝義委員、山岸国夫委員、齋藤邦夫委員

#### 3. 調査結果及び意見

##### (1) 新しい役場庁舎の建設について町民説明会

役場の暫定移転もほぼ完了した。旧庁舎は解体され、現在更地になっている。町当局は説明会を開き、庁舎建設の時期や計画を明確に示すべきだ。

##### (2) 朝日診療所の体制確保

4月から現在3名体制の医師が2名に、さらに会津中央病院派遣の看護婦2名の減がほぼ確実となった。朝日診療所の基本計画づくりを要請しているが、いまだに公表されていない。基本的な考えがないと、体制はどんどん先細りする。当局は、早急に4月以降の体制を公表し町民に説明する必要がある。

また、町を挙げての陳情も必要と判断する。町長を先頭に県会、国会にお願いして実態を判っていただくことも今は重要と考える。

##### (3) 集落排水加入促進

集落排水の整備地区で、まだ加入していない世帯が見られる。当局は加入促進に努力すべきだ。また、高齢化の中でグリストラップの清掃に難儀されている。清掃方法の指導や支援についても検討されたい。

(4) 会計年度任用職員の制度採用について

雇用拡大政策は、人口減少の中で極めて重要な課題だ。正職員と同数程度の臨時職員が4月からこの制度に一本化される。年金等も整備される予定で歓迎すべき半面、総人件費の伸びがどの程度になるか心配な面もある。正職員・会計年度任用職員・再雇用職員が意欲を持ち、効率の良い職場づくりを期待する。

以上